

模擬講義

水素社会を実現するための安全科学 ～安心安全で環境にやさしい社会の実現に向けて～ **澁谷 忠弘 教授**

水素はアンモニアや合成メタン、合成燃料の基盤となる材料であり、幅広い分野（鉄鋼、化学、モビリティ分野、産業熱、発電等）での活用が期待されています。2050 年カーボンニュートラル実現に向けた鍵となるエネルギーとして、2024 年には水素社会推進法の施行も開始され、官民一体でカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが進められています。一

方、水素は、着火しやすい、爆発しやすい気体であるとともに、金属材料を脆化させる等の特徴から、安全に取り組むためには、多くの課題があります。

横浜国立大学は、昭和 42 年の安全工学科設置、昭和 48 年の環境科学研究センターの設置に端を発して、安全に関する科学研究と教育を先導してきました。この講義では、水素社会を実現するための安全の科学について紹介します。

